

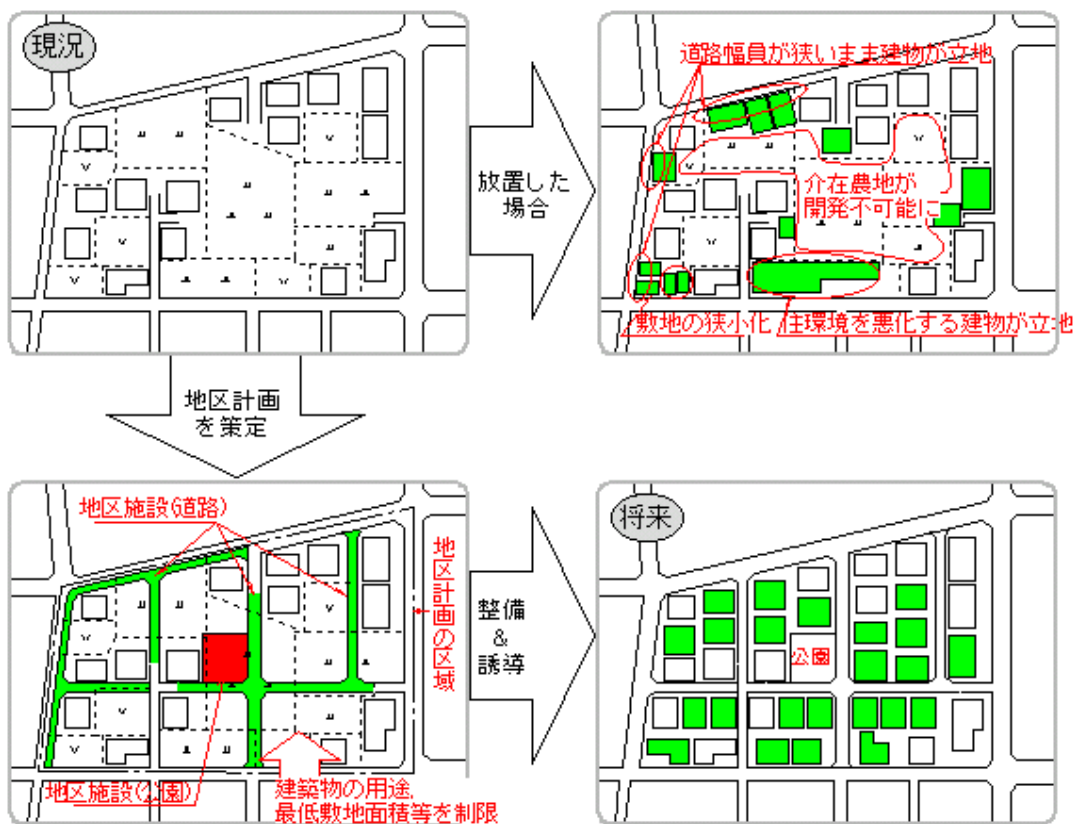
8 地区計画

(1) 地区計画

地区レベルの市街地の形成は、主として住民等の開発行為や建築行為等により行われていきますが、バラ建ち的な建築や宅地周りの狭い道路、公園の未整備など、いわゆるミニ開発の進行等により種々の問題が生じています。

地区計画は、このような問題に対して、住民の生活に結びついた地区を単位として、道路・公園等の配置や建築物に関する制限など、地区の特性に応じたきめ細かなまちづくりの計画です。

この地区計画制度は、開発行為・建築行為等について、市町村長がその行為の届け出に対して必要に応じて勧告することができます。

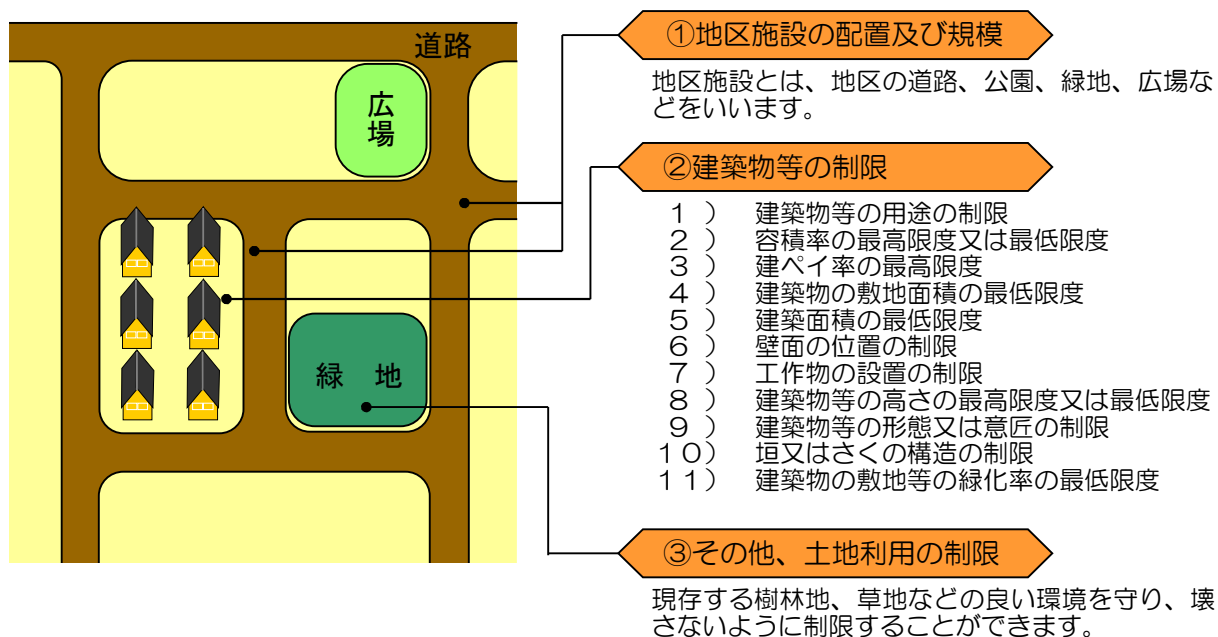
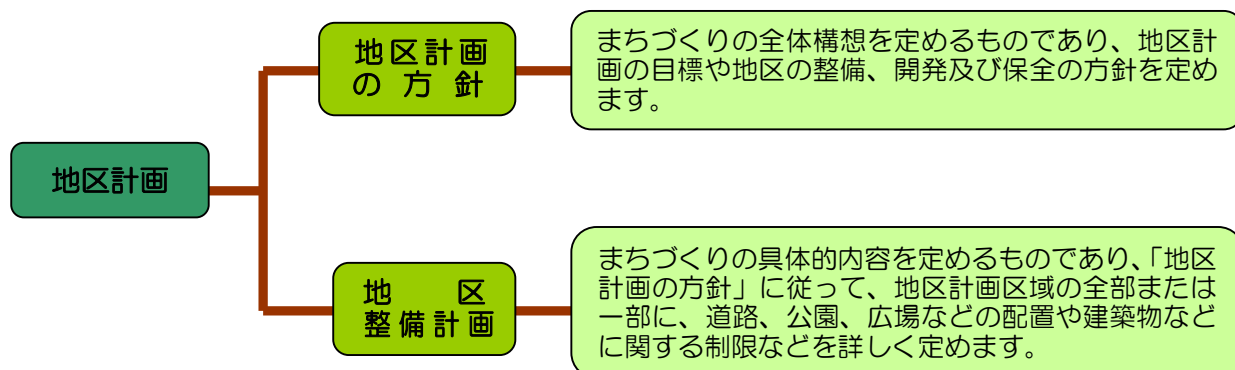


長野市三本柳地区



長野市飯綱高原地区

◆ 地区計画の構成



◆ 地区計画の種類

地区の特性に応じた規制や誘導を行うことが出来るように、以下の種類が用意されています。

地区計画：建築物の用途や形態、道路、公園などをきめ細かく定め、良好なまちづくりを進めます。

防災街区整備地区計画：密集市街地の土地の区域内で、当該区域における防災機能の確保と土地の合理的かつ健全な利用を図ります。

歴史的風致維持向上地区計画：歴史的な建造物を利活用し、その保全を促し、歴史的風致の維持及び向上と土地の合理的かつ健全な利用を図ります。

沿道地区計画：道路交通騒音の著しい幹線道路の沿道について、騒音による障害の防止と合理的な土地利用の促進を図ります。

集落地区計画：市街化調整区域内などで、営農条件と都市環境との調和のとれた地域の整備を計画的に推進します。